

第6号

令和元年10月1日

印刷 社会福祉法人コロニー印刷

こうせい

KUMAMOTO

編集・発行
更生保護法人
熊本県更生保護協会
特定非営利活動法人
熊本県就労支援事業者機構

(題字は米満弘之理事長・会長の筆によるものです。)

第69回 社会を明るくする運動

県内の地域活動から

熊本中央地区
熊本市推進大会の後にパレード



八代地区
八代さわやかヤングステージ



荒尾地区
荒尾ヤングステージ



山鹿地区
山鹿で後援会



熊本北地区
熊本北親子ミニバレー大会



学校との連携事例紹介

熊本中央地区保護司会では、学校側と事前に協議して、社会を明るくする運動の一環行事として保護司による「出前授業」を実施しました。この活動の企画や実施に当たった江崎保護司にこの活動の様子をまとめていただきました。

「桜山中学校での出前授業」

熊本中央地区保護司会 江崎 昭子

学校との連携を模索している中で、サポートセンターへ寄贈されてきた「コウくんときいろいはね」と言う絵本と出会った。

これは更生保護活動の資料になるなど感じ、「社会を明るくする運動」の作文募集のための授業が展開できると思い、早速、「更生保護」ってなんだろうと題した授業案を作成してみた。

もちろん授業の流れのワークシートも作成し、一見して本日のテーマの見える広用紙も用意した。

ワークシートの最後には、保護司会として意図するところの作文募集の案内も抜け目なく添付した。

日頃から、学校には保護司として見える関係づくりをしていたので、出来たワークシートと「コウくんのきいろいはね」の絵本を持参し、出前授業開催のお願いに行った。

まず、小学校では授業時間の確保が出来ず3学期では如何でしょうかというものであった。却下でなかったので一応安心はした。

中学校にも同様の資料を持参し、同様の説明をした。結果、快諾を頂き7月17日水曜日の6校時の開催許可を頂き、出前授業の実施となった。

対象は2学年全員で54名。授業教室は2学年全員が入り、しかも空調設備の整った場所という配慮から音楽室を提供して頂いた。

反応として、見るのも聞くのも初めてという生徒が大半を占め、興味深く話の内容に耳を傾けてくれた。

授業を終わり生徒たちからの感想を聴くことは出来なかったが、退室際に「『作文』書きます。」との声が聞け、期待しているところである。

また、中学校の方からこの出前授業を年間計画の中に位置付けしたいとお話があり、是非にと願っているところである。



出所者向け求人誌制作

今秋めどに熊本市、全国初

自立促し再犯防止へ

熊本市は今秋をめどに、刑務所を出所して市内での就労を目指す人らに読んでもらう求人誌を制作する。経済的自立を促し、再犯を防ぐのが狙い。市によると、行政機関による取り組みとしては全国で初めて。

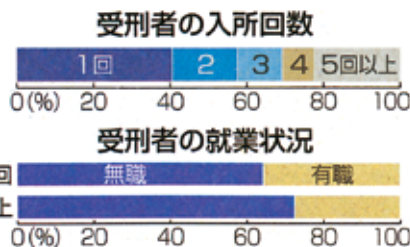
再犯防止推進法に基づく法務省のモデル事業（2018～20年度）で、制作費約200万円は国が負担。出所後、県内での生活を希望する受刑者約100人に市がアンケートした結果、希望職種に調理や介護、自動車整備などが挙がった。

今後、趣旨に賛同して求人情報を提供する市内の事業所を募る。出所者らに職場を提供する協力雇用主制度もあるが、市内の登録事業者の半数近くは建設業。市は、求人誌制作を職種の多様化や雇用主の増加につなげたいとしている。

求人誌は出所者の相談を受けたり、執行猶予付き判決を受けた人や仮釈放中の人らを指導したりする熊本保護観察所などに配布。市は年間数十人から100人程度が手に取ると見込んでいる。



熊本保護観察所が入る熊本第二合同庁舎
＝熊本市中央区



※2018年度の犯罪白書から作成

18年度の犯罪白書によると、17年に刑務所に入った受刑者のうち約6割が入所2回目以上。その7割超が入所時に無職だった。

市生活安全課は「過去の犯歴を隠し、不安を抱えたまま働くことで早期離職につながるという指摘もある。理解のある雇用主への就職を促進したい」と説明。人手不足が深刻な介護職の研修会も検討している。（山口尚久）

県 高齢者の生活安定へ支援

再犯防止推進法に基づく法務省のモデル事業として、県は刑務所で矯正される機会がなかった高齢者らの支援を進めている。犯罪を繰り返す高齢者が、不安定な生活を送っていることが多いからだ。

対象は、万引など比較的軽微な犯罪で不起訴処分になったり、判決に執行猶予が付いたりした高齢者ら。今年4月から、生活保護など福祉サービスの申請や住まいの確保を支援している。

本年度予算は960万円。事業は県地域生活定着支援センター（熊本市中央区）に委託した。県くらしの安全推進課は「不安を抱えた人や家族らに対応する。気軽に相談してほしい」と呼び掛けている。同センター ☎096（277）1508。（山口尚久）

（熊本日日新聞 令和元年（2019年）6月15日（土）掲載）

地域生活定着支援センターについて

1、地域生活定着支援センターの設立経緯

刑務所入所者で、必要とする福祉を受けてこなかったあるいは受けられなかった状態の人や、帰る先を確保できないまま矯正施設を退所する高齢者、障がい者が数多く存在することが指摘されました。

そこで、厚生労働省は、2009年度からこのような矯正施設退所者を福祉につなげる仕組みとして保護観察所と協働して進める「地域生活定着支援センター」を各都道府県に整備しました。

2、地域生活定着支援センターの業務

①コーディネイト

保護観察所からの依頼に基づき、矯正施設入所中から対象者と面接を行い、本人が希望する生活がかなうように関係機関と協働しながら社会資源の活用を行います。

具体的には、居住の確保・収入の確保・受診の調整・介護保険利用・相談者確保などです。

②フォローアップ

社会に出てからの困難さ（「自分の事を自分で決めなければいけない」「1日の時間が長すぎる」「どのように過せばいいかわからない」）をかかえた対象者に寄り添いながら支援していく、関係機関と協働して支援していくことが重要になります。

③相談支援

罪を犯して「微罪処分」「不起訴」「執行猶予」「罰金」の処分の対象となった対象者の福祉的な支援相談。すでに社会生活をしておられる刑余者又はその関係者、関係機関への相談などにも対応しています。

④普及啓発

「罪を犯した高齢者・障がい者」の福祉的な支援のためには行政、福祉、医療の各機関はもとより、住民の方々の理解と協力が必須となります。私たち定着支援センターは地域へ出向いての「啓発活動」を積極的に行っています。

3、熊本地域生活定着支援センターについて

熊本県から委託を受け社会福祉法人恩賜財団済生会熊本県支部が2014年度より事業を行っています。

所在地 熊本市中央区南千反畑町3-7 熊本県総合福祉センター 2階

電話 096-277-1508

受付時間 月～金 8：00～17：00（年末年始除く）

熊本県社会復帰支援ネットワーク協議会が開かれる

標記会議の令和元年度第1回会議が、令和元年9月17日に熊本市中央区、くまもと県民交流館パレアで開催されました。会議には国や県、市、民間組織などの20の関係機関・団体から25名が参加。熊本労働局、でんでん虫の会、熊本県更生保護女性連盟、熊本県BBS連盟、熊本どんぐりからそれぞれ活動報告が行われたほか、熊本市及び熊本県から再犯防止モデル事業についての情報提供、参加機関・団体から提案された事項についての協議が行われました。この会議は当協会及び機構の呼びかけにより発足し、本年で4年目を迎えますが、刑余者の社会復帰支援のための関係機関・団体の連携、情報交換の場としての役割を果たすべく努力しています。



平成30年度 更生保護法人 熊本県更生保護協会 会計報告

収支決算書

収入総額 11,838,042円 支出総額 12,704,523円 繰越金 △866,481円

収入の部			支出の部		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
助成金収入	2,800,000	2,897,000	一時保護事業費 (金品給与)	1,470,000	1,417,000
篤志者寄附金	1,350,000	982,569	連絡助成事業費	9,595,000	9,567,502
役員等寄附金	1,600,000	1,060,000	事務費 (給料手当外)	3,035,000	2,895,650
財産収入	20,000	6,973	啓発費 (社明推進費外)	770,000	525,085
会費収入	7,100,000	6,650,000	連絡調整費 (機関誌発行外)	830,000	739,667
雑収入	10,000	241,500	助成費 (地区保護司会等への助成)	4,960,000	5,407,100
			管理費	1,814,000	1,720,021
			予備費	1,000	0
合計	12,880,000	11,838,042	合計	12,880,000	12,704,523

熊本県更生保護協会 平成30年度事業成績報告書

1 運営に関する事項

- (1)収入に関しては、地震の影響が残っていると考えられ、企業等からの寄附金収入が思うように得られず、収入総額は11,838,042円となり、当初の収入見込み額を大きく下回った。
 (2)収入が減少したため、管理費など支出を抑えた運営に努めたが、連絡助成事業は当初の事業計画どおり実施したため、支出総額は12,704,523円となり、損金が866,481円となった。

2 犯罪予防及び更生保護思想の普及宣伝に関する事項

機関紙「くまもと更生保護」を年2回、同「こうせい」を年1回発行したほか更生保護カレンダーを関係機関・団体に配布した。

3 連絡助成事業に関する事項

県保護司会連合会等、更生保護関係団体に対する助成

4 一時保護事業に関する事項

要保護対象者に対して、その更生を援助するために必要な食事代や交通費などの金品給与31件(金額合計94,000円)の助成を行った。

平成30年度 NPO法人 熊本県就労支援事業者機構 会計報告

活動計算書

収益総額 4,295,986円 費用総額 3,163,415円 繰越金 1,132,571円

収入の部			支出の部		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
助成金収益	2,100,000	2,100,000	事業費	2,148,000	2,157,555
会費収益	600,000	494,000	奨励事業費	200,000	42,480
雑収益	408,000	428,018	開拓事業費	840,000	840,000
受取委託料	0	1,273,968	研修等事業費	50,000	0
			整備事業費	450,000	75,000
			広報啓発事業費	200,000	177,140
			アンケート事業	0	614,935
			人件費	408,000	408,000
			管理費	960,000	1,005,860
合計	3,108,000	4,295,986	合計	3,108,000	3,163,415

就労支援事業者機構 平成30年度事業報告書

1 運営に関する事項

- (1)今年度の収入は、会費・補助金等収及び熊本市からの委託事業(アンケート調査)収入により4,295,986円(前年度繰越金を含まず)であった。委託事業の増加により前年度(3,113,016円)対比で1,182,970円収入が増加した。
 (2)支出は、雇用協力事業者奨励事業、雇用協力開拓事業、犯罪者等就労環境整備事業、委託事業(アンケート調査)、管理費等3,163,415円であった。前年度(2,754,635円)対比で408,780円支出が増加した。その主な要因は委託事業(アンケート調査)の費用増加であった。

2 事業実施に関する事項

- (1)協力事業者奨励事業
 雇用された犯罪者等の円滑な就労・定着を促進するため、資格取得にかかる費用や、入れ墨除去手術に対する費用助成を行った。
 (2)犯罪者等就労環境整備事業
 犯罪者等が出所した後の就労をより容易にするために、「パソコン研修」を昨年度に引き続き開催した。

おしらせ

菊池地区更生保護サポートセンターの移転について

移 転 後 (移転期間令和2年5月31日まで)	旧 住 所
〒861-1204 菊池市泗水町永4019 TEL・Fax 0968-38-5600	〒861-1205 菊池市泗水町福本 TEL・Fax 0968-38-5600

新任保護司会会長

氏 名	地 区
前村 齋	熊本西地区保護司会
旭 啓之	宇城地区保護司会
西浦勘三郎	荒尾地区保護司会
森 隆博	菊池地区保護司会
児玉 政俊	阿蘇地区保護司会
黒田 宏信	芦北地区保護司会
瀬崎 哲弘	人吉地区保護司会
西川 英文	玉名地区保護司会

新任保護司会分会長

氏 名	地 区
森 隆博	菊池地区菊池分会
今村 維詔	菊池地区大津分会
児玉 政俊	阿蘇地区北部分会
小野真由美	阿蘇地区中部分会
田中 茂	天草地区本渡分会



資格取得（原付免許証取得等）及び入れ墨除去手術に対する補助金制度のお知らせ

- 助 成 金 額** 30,000円を限度とします。（資格所得費用、入れ墨除去の医療行為のみの助成で交通費等は除きます）
- 助成対象者** 保護観察中の人か観察期間終了後3年以内の人に限りです。
- 申 込 方 法** 観察所、協力雇用主、保護司、熊本自営会、自立準備ホームを通じて事前審査申込書を熊本県就労支援事業者機構に提出して下さい。
申込み内容を検討のうえ連絡します。
- お 問 合 せ** 熊本県就労支援事業者機構 電話 096-288-4375

今世紀最大のクイズ



10個の箱が並べてあります。その箱のうちの9個の箱には重さ1gの小さな球が入っています。
しかし1個の箱だけには、重さ2gの小さな球が入っています。
ここに、1gから測れる台秤があります。この台秤を1回だけ使って重さ2gが入っている箱を見つけて下さい。さて、どのような測り方をすればよいのでしょうか？真面目な問題です。（10個の箱の中の球の数は、それぞればらばらです）



（回答は熊本県更生保護協会のホームページをご覧ください。）

編集後記

今年も猛暑から一転、梅雨のような日々が続くなど、天候不順が際立った夏でした。そして更生保護は今年七〇周年を迎えます。古希に相当しますが、更生保護はまだまだこれから元気で成長を続けることを願ってやみません。

ホームページ開設のお知らせ

URL kumamoto.koseihogo.org

URL kuma.syuroshien.koseihogo.org

熊本県更生保護協会

検索

熊本県就労支援事業者機構

検索

Mail info@koseihogo.org（協会・機構共通で使用できます）